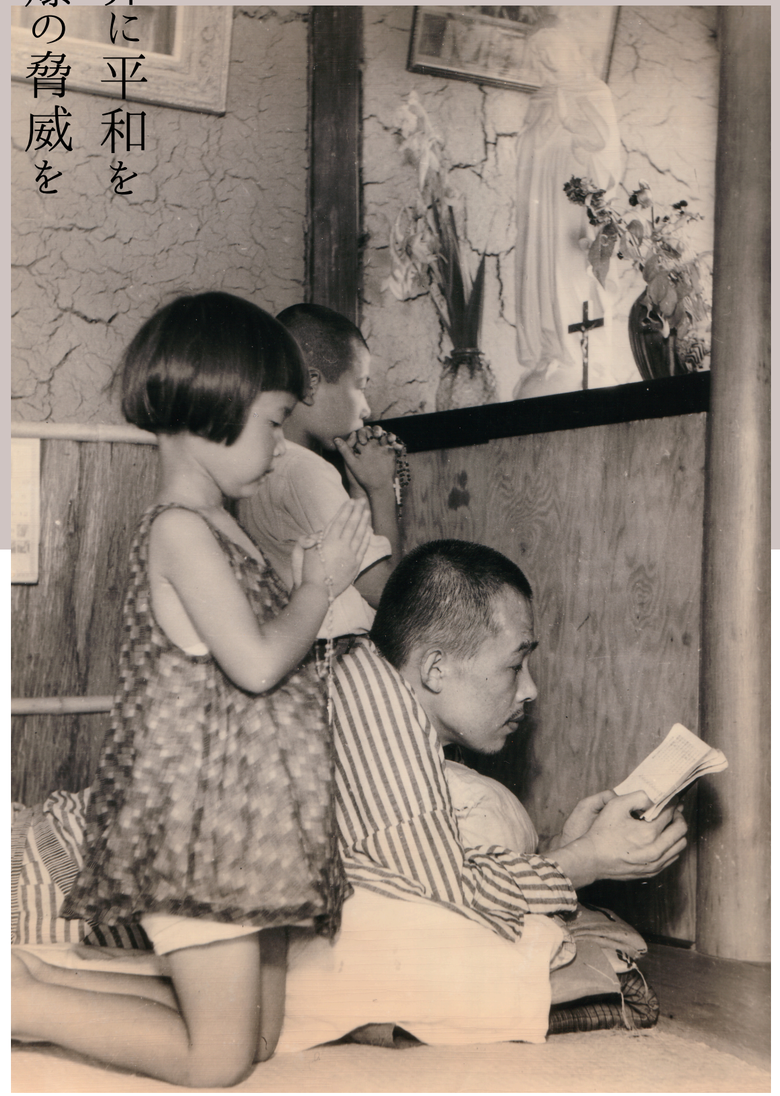
世界に平和を
原爆の脅威を
訴え続けた
永井隆博士



写真提供:永井隆記念館

平和学習のご提案

西鉄観光バス株式会社

戦争と原子爆弾

長引く戦局に終止符を打つ為アメリカ（連合国）は
1945年7月16日人類史上初の核実験「トリニティ」が
アメリカニューメキシコの砂漠地帯で行われ
数週間後には実戦用の原子爆弾として「広島」「長崎」へ投下され
一瞬で21万の方が亡くなりました。

↓

「もし原子爆弾が自分の住んでいる町に投下されていたら」

↓

「命の大切さ、生きる事の素晴らしさ」
「戦争とは「加害」であり「被害」でもある事」
それを踏まえ「平和の大切さを考える」

自らが平和を発信できる人となる様育成する事を目的としています。

写真提供:長崎原爆資料館

オンライン平和学習の特徴

ポイント①

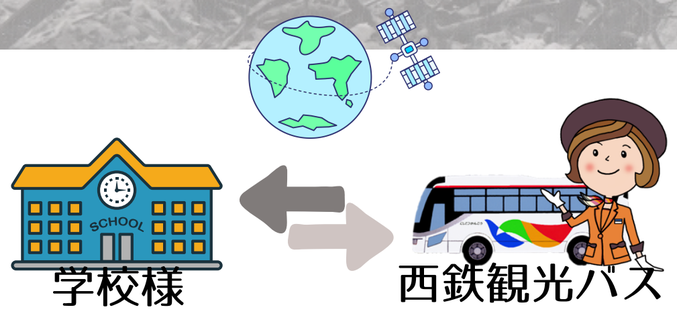
大戦がなぜ起こったのか、原爆がなぜ投下されたのかを映像に合わせて紹介します。集中力が続く様に「考える時間」を設定しています。

ポイント②

長崎原爆資料館のデーターベースの中から見て感じて欲しい資料を約10分の動画にまとめています。伝わりやすさを追求するため、ナレーション入りの映像です。

ポイント③

原爆遺構を見学する時間では被爆前、被爆後、現在を見る事で、原爆の脅威を実感いただけます。「浦上天主堂」「長崎医科大学」「山王神社」等を中心に紹介。



ご用意いただくのは「1台のパソコン」「1台のカメラ」そして「通信環境」です。
オンデマンド学習とは違いオンライン会議システムZOOMを利用するため、教室と一方通行でない双方向型で進めていきます。

原爆遺構・遺品の写真は　提供:長崎原爆資料館

プログラム内容

考える時間①・・・戦争って何か知っていますか?

1.戦争って何だろう?（第二次世界大戦概要）

考える時間②・・・日本で戦争が始まったら・・・

2.原爆投下目標「広島」「小倉」「長崎」

戦争を早く終わらせたいアメリカは日本に原爆を投下する事を決めました。
候補地の選定が行われますが、広島・小倉・長崎、3つの都市が目標に決定しました。

3.原子爆弾の威力①（原爆遺構見学）

原子爆弾のメカニズムを知った後、原爆遺構を見学しその被害から原子爆弾の威力を知る。

4.原子爆弾の威力②（長崎原爆資料館特別展）

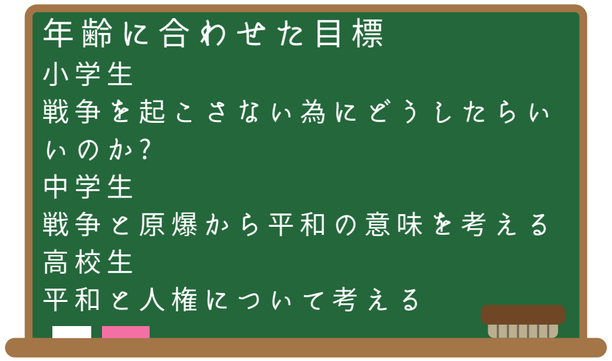
長崎原爆資料館から借りた貴重な資料を映像にまとめています

5.原爆投下後、命のリレーを行なった人たち

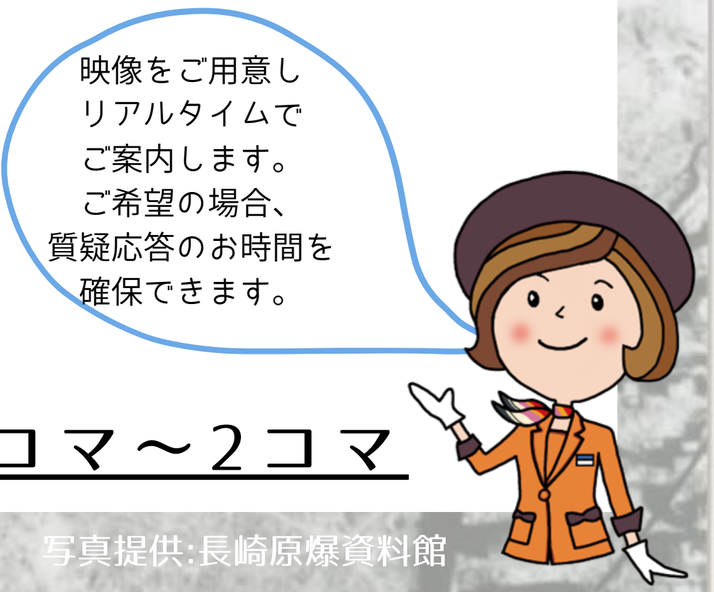
原爆投下後の長崎では医療従事者を中心に救援活動が行われました。
その1人長崎医科大学の永井博士をご紹介します。

考える時間③・・・今平和ですか?

自分にとっての「平和」とは何か?をまとめる時間



1コマ～2コマ



写真提供:長崎原爆資料館

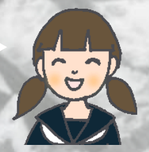
今日習った事で私はロシアとウクライナが戦争しているので何か出来る事を考えてみたいと思いました。
ガラスが溶けるくらいの温度だと聞いて、すぐに亡くなってしまうはずなのに頑張って生きようとしていると知ったので、こらから私は諦めなく何事にも頑張って努力しようと思いました。（12歳）

動画を見ただけで胸が締め付けられる様だった。
実際に長崎に足を運んで平和について考えてみたい。
幼い子を残していかなければならない永井さんの悲痛な思いにやるせない気持ちになった実際に被曝された方々も少なくなっている現在、私たちが平和について丁寧に考え、それを伝えていかなくてはいけないと強く思った（17歳）

今回の学習で戦争について改めて学び平和についてクラスみんなで話合い考えを深める事ができた。平和に対する他の人の意見を聞く事ができてよかったと思う。長崎に実際に行って残っている遺構や原爆資料館を是非見学したいと思った。（15歳）

オンラインだからわかりずらかったりするのだろうと思っていたけど、すごく想像しやすく、ガイドさんが被爆した長崎に立っているのを見て、自分もそこにいる様な気持ちになった。現地にいかないと聞けない様な話がたくさん聞けて長崎の悲しい歴史を深く知れた。いつか長崎に行って自分の目で戦争の恐ろしさ悲しさを見たい（17歳）

戦争は改めて恐ろしいものだと感じた。多くの国から平和のモニュメントが送られている事に驚いた。それぐらい世界に衝撃を与えたのだと思いました。当時の様子を知る事は辛い事だけど、戦争を経験した事がない人がほとんどなので、次の世代に伝える事が大事だと思いました。（15歳）



平和の事を説明したり、クイズを出してもらったりありがとうございました。教えていただいた事を忘れずに社会の勉強の時思い出しながら学習に取り組もうと思いました。
平和学習をした事で改めて戦争はしてはいけないもの、
平和はとても大切なものと教えていただきありがとうございました（12歳）

長崎での戦争の事で知らなかった事が色々あったけど写真や映像を見て戦争の恐ろしさや命の大切さなどを知る事ができました。平和な世界を守り続けるには平和について考える事。安心して生活するには大切な事だとわかりました。（12歳）

今回の話を聞いて戦争はよくない事だとわかりました。なんで爆発させたのかわかりません。でも爆弾が落とされたら僕は死んじゃうかもしれません。それを考えるとやばいと思いました。これから戦争が起きないために戦争はよくない事だと伝えたいです（12歳）

写真提供:長崎原爆資料館

SDGS目標16.

「平和と公正」な世界の取り組みに向けて

～世界で唯一の被爆国である私たちが語り継ぐと言う事～

今も世界中で、紛争、内戦、戦争が絶える事なく、

SDGsが掲げる目標の「平和と公正」達成には程遠く、

ましてや日本にいる私たちには、この目標を身近な

問題として感じる機会も少ないのが現状です。

その中で原爆被爆都市長崎での平和学習は

貴重な体験となる時間です。

この機会に第二次世界大戦や核兵器が人類に及ぼした

痛ましい悲劇と平和の大切さを認識し、

世界唯一の被爆国として平和を発信する人となれる様考える

プログラムです。

写真提供:長崎県観光連盟

写真提供:長崎原爆資料館